

知っていますか？「潤いの時間」(2)

さいたま市教組情宣

さいたま市
教職員組合
(埼教組)

TEL 641-6763
FAX 648-3567
e-mail
saitama@kyouji
ku-net.org
2005. 3. 3
(木)
No. 83

実施学年	コンセプト	実施形態	実施内容	
			言語習得のためのスキル	自己実現のためのスキル
小学校 第5学年	慣れる	○学級担任を中心とし、ALTや英語の堪能な日本人英会話講師または、外国人ボランティアとのTT方式	○英語のリズムやイントネーション、基本的な英語表現に慣れる学習の実施	○自分の考えを簡易な英語や動作等を用い伝えるトレーニングの実施
小学校 第6学年	親しむ	○ALTに特別非常勤講師の資格を与え、さいたま市独自で作成したマニュアルのもと、ALTが中心となり、日本人英会話講師等が補助にまわるTT方式	○身近な場面で使う基本的な英語表現に親しみ、簡単な問答に答えられる学習の実施	
中学校 第1学年	使う	○ALTに特別非常勤講師の資格を与え、さいたま市独自で作成したマニュアルのもと、ALTが中心となり、日本人英会話講師等が補助にまわるTT方式	○相手の言う英語を理解し、自分が言いたいことを簡易な英語で伝え、身近な場面での会話を継続する学習の実施	○自分の考えを英語で話すトレーニングの実施
中学校 第2学年			○日常の場面で使う英語表現を使いこなすとともに、一つの話題に対し、互いの意見を尊重しながら、英語で簡単な討議が行える学習の実施	○自分の考えを英語で筋道立てて話すトレーニングの実施
中学校 第3学年			○幅広い場面で使う英語表現を使いこなすとともに、一つの話題に対し互いの意見を尊重しながら、英語で簡単なディベートが行える学習の実施	○自分の考えを英語で論理的に、発表するトレーニングの実施

「潤いの時間」を構成するもう一つの内容は、「英会話」です。

▽目標

「児童生徒に、英語を活用し、コミュニケーションを図る技術(スキル)を身につけさせる。」

▽内容

- (ア) あいさつや応答をはじめ、場面に応じて対応できる技術を習得するエクササイズ
- (イ) 自分の考えたことを整理し、論理的に英語で話すことのできるエクササイズ
- (ウ) 相手の意見を尊重しながら、自分の意見を英語で伝える英語での

会話やディベートでの技術を習得するエクササイズ」

▽実施方法

「小学校においては、担任とALT、外国人ボランティアや英語が堪能な日本人英会話講師が市独自のカリキュラム等に基づいて実施する。中学校においては、ALTが中心となり、必要に応じて日本人英会話講師等とのチームティーチングにより、市独自のカリキュラムと指導マニュアルに基づいて実施する。」

▽教員への研修

「教員には『英会話』研修事業を新たに創設し、研修を実施する」

左記に資料をのせておきます。

寄せられた 意見から

中学校の英語教師は心配している！

- 一、英語教育の専門でない学級担任が、小学校の五・六年生に英語を教えた場合、次のようなマイナスが考えられる。
 - ① ほぼ全教科を教えている担任の負担が飛躍的に大きくなる。
 - ② 系統的に教えられない。
 - ③ 音声、発音、文法などを軽視する英会話では、英語力はつかない。
 - ④ 小学校のこの段階では、英語でのコミュニケーションより、日本語でのコミュニケーション能力を育てるべきではないか。
- 小学生の発達段階をよく踏まえ、英語教育に精通したALTやボランティアならともかく、英語が話せれば誰でも英語教育が出来ると思うのは、あまりに英語教育を知らない人の考えである。

二、中学校の側から見ると、

- ① 小学校段階で理解できずに、興味をなくして中学校へ入学してくる可能性はある。
- ② 中学校一年生の入門期に見られた輝いた瞳が消える！
- ③ 総合的に考えると、中学校での英語学習のスタートが、マイナスからの出発という状況になることが必至である。

(北区の方から)